

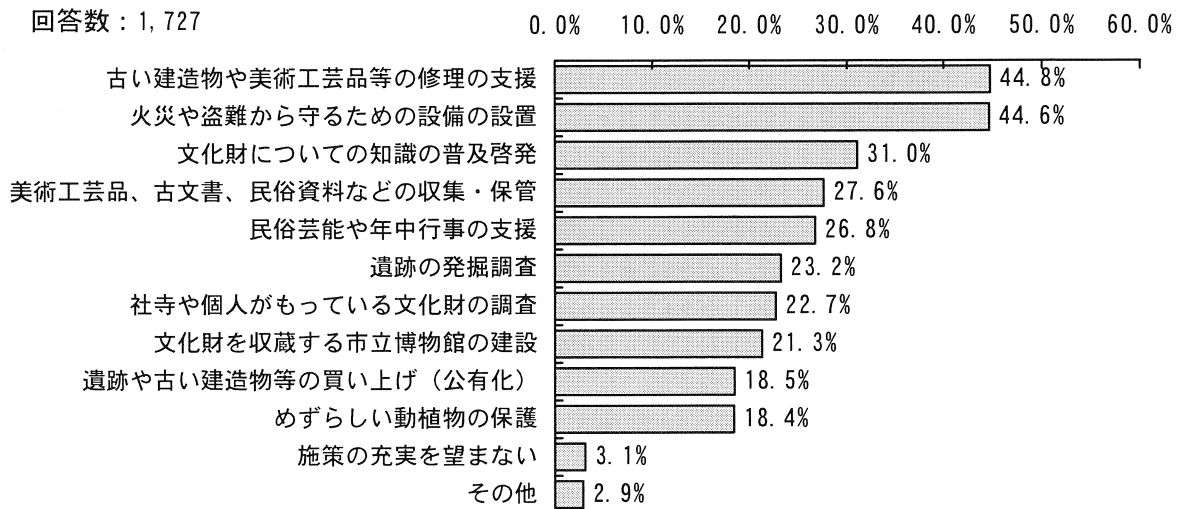
## 6. 文化財について

### 6-1 文化財保護のため充実すべき施策

問 22 奈良市にある文化財を守るために、どのような施策を充実させるべきだとお考えになりますか。【あてはまるものすべてに○】

文化財保護のため充実すべき施策は、「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」が 44.8%で最も多く、次いで「火災や盗難から守るための設備の設置」(44.6%)、「文化財についての知識の普及啓発」(31.0%)となっている。

図 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）



年齢別に回答の多い順をみると、「40～49歳」と「50～59歳」で「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」が最も多く、次いで「火災や盗難から守るための設備の設置」であるが、「30～39歳」では両者が同率で最も多くなっている。他の世代では「火災や盗難から守るための設備の設置」が最も多く、次いで「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」となっている。

表 年齢別 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	火災や盗難から守るための設備の設置 51.2%	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 48.8%	文化財についての知識の普及啓発 34.0%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 32.1%	民俗芸能や年中行事の支援 30.9%
30～39歳	220	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 43.2%	火災や盗難から守るための設備の設置 43.2%	文化財についての知識の普及啓発 30.9%	めずらしい動植物の保護 27.3%	民俗芸能や年中行事の支援 25.5%
40～49歳	245	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 53.1%	火災や盗難から守るための設備の設置 44.9%	文化財についての知識の普及啓発 30.2%	民俗芸能や年中行事の支援 26.9%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 23.3%
50～59歳	337	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 49.0%	火災や盗難から守るための設備の設置 40.7%	文化財についての知識の普及啓発 31.2%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 27.9%	民俗芸能や年中行事の支援 26.4%
60～64歳	225	火災や盗難から守るための設備の設置 45.3%	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 41.3%	文化財についての知識の普及啓発 33.3%	民俗芸能や年中行事の支援 31.6%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 28.0%
65歳以上	451	火災や盗難から守るための設備の設置 46.6%	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 37.3%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 31.5%	文化財についての知識の普及啓発 29.9%	文化財を収蔵する市立博物館の建設 28.2%

地域別にみると、「中部地域」と「中央市街地」では「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」、  
「西部地域」と「北部地域」と「南部地域」と「都祁地域」では「火災や盗難から守るための設  
備の設置」、「東部地域」では「社寺や個人が持っている文化財の調査」、「月ヶ瀬地域」では「文  
化財についての知識の普及啓発」が最も多くなっている。

表 地域別 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）

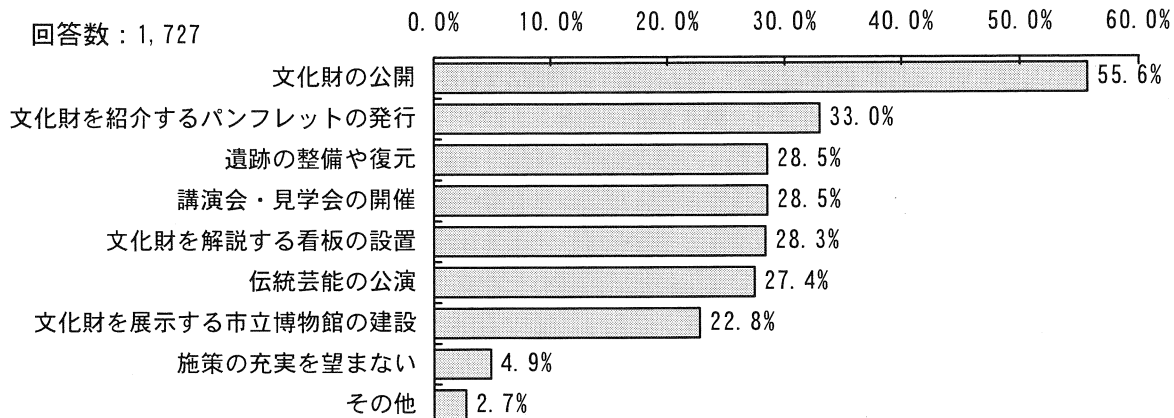
	有効回 答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	火災や盗難から守 るための設備の設 置 48.5%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 47.5%	文化財についての 知識の普及啓発 31.5%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 28.7%	民俗芸能や年中行 事の支援 26.5%
北部地域	125	火災や盗難から守 るための設備の設 置 44.0%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 43.2%	民俗芸能や年中行 事の支援 32.8%	文化財についての 知識の普及啓発 32.8%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 28.8%
中部地域	114	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 35.1%	火災や盗難から守 るための設備の設 置 35.1%	文化財についての 知識の普及啓発 28.1%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 25.4%	民俗芸能や年中行 事の支援 25.4%
中央市街地	414	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 44.2%	火災や盗難から守 るための設備の設 置 43.7%	文化財についての 知識の普及啓発 32.9%	民俗芸能や年中行 事の支援 26.8%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 26.1%
南部地域	122	火災や盗難から守 るための設備の設 置 48.4%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 45.9%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 30.3%	文化財についての 知識の普及啓発 28.7%	めずらしい動植物 の保護 24.6%
東部地域	26	社寺や個人がもっ ている文化財の調 査 42.3%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 38.5%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 26.9%	火災や盗難から守 るための設備の設 置 26.9%	文化財を収蔵する 市立博物館の建設 23.1%
月ヶ瀬地域	9	文化財についての 知識の普及啓発 33.3%	遺跡の発掘調査 22.2%	社寺や個人がもっ ている文化財の調 査 22.2%	文化財を収蔵する 市立博物館の建設 22.2%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 22.2%
都祁地域	31	火災や盗難から守 るための設備の設 置 41.9%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 35.5%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 32.3%	民俗芸能や年中行 事の支援 32.3%	遺跡の発掘調査 22.6%

## 6-2 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策

問 23 文化財をくらしの中に生かすために、どのような施策を充実させるべきだとお考えになりますか。【あてはまるものすべてに○】

文化財をくらしに生かすため充実すべき施策は、「文化財の公開」が 55.6%で最も多く、次いで「文化財を紹介するパンフレットの発行」(33.0%)となっている。さらに「遺跡の整備や復元」と「講演会・見学会の開催」が、ともに 28.5%で続いている。

図 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策（複数回答）



地域別に回答の多い順をみると、いずれの地域でも「文化財の公開」が最も多くなっているが、第2位に地域差がみられる。第2位は、「西部地域」と「北部地域」と「中央市街地」と「南部地域」では「文化財を紹介するパンフレットの発行」、「中部地域」と「東部地域」では「講演会・見学会の開催」、「月ヶ瀬地域」では「文化財を展示する市立博物館の建設」、「都祁地域」では「伝統芸能の公演」となっている。

表 地域別 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策（複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	文化財の公開 56.2%	文化財を紹介するパンフレットの発行 32.8%	文化財を解説する看板の設置 29.5%	遺跡の整備や復元 29.1%	講演会・見学会の開催 29.0%
北部地域	125	文化財の公開 68.8%	文化財を紹介するパンフレットの発行 41.6%	伝統芸能の公演 34.4%	遺跡の整備や復元 28.8%	講演会・見学会の開催 25.6%
中部地域	114	文化財の公開 45.6%	講演会・見学会の開催 32.5%	遺跡の整備や復元 28.9%	文化財を紹介するパンフレットの発行 24.6%	文化財を展示する市立博物館の建設 21.9%
中央市街地	414	文化財の公開 55.1%	文化財を紹介するパンフレットの発行 34.5%	文化財を解説する看板の設置 33.1%	遺跡の整備や復元 29.7%	伝統芸能の公演 28.7%
南部地域	122	文化財の公開 59.8%	文化財を紹介するパンフレットの発行 38.5%	文化財を解説する看板の設置 31.1%	遺跡の整備や復元 26.2%	伝統芸能の公演 26.2%
東部地域	26	文化財の公開 46.2%	講演会・見学会の開催 42.3%	文化財を紹介するパンフレットの発行 34.6%	遺跡の整備や復元 30.8%	文化財を解説する看板の設置 23.1%
月ヶ瀬地域	9	文化財の公開 44.4%	文化財を展示する市立博物館の建設 33.3%	講演会・見学会の開催 33.3%	文化財を紹介するパンフレットの発行 33.3%	伝統芸能の公演 22.2%
都祁地域	31	文化財の公開 51.6%	伝統芸能の公演 32.3%	遺跡の整備や復元 25.8%	講演会・見学会の開催 25.8%	文化財を紹介するパンフレットの発行 25.8%